

手話サークル わかぎ

耳や口が不自由な人たちの、耳となり口となりして手助けをしているサークルがある。『手話サークルわかぎ』。熊本・八代・玉名・人吉・天草の五地区にグループがあり、会員約百人が県内各地でろうあ者とともに、「手話」を広め、ろうあ問題について一般健聴者の理解を深めてもらうよう活動を展開している。昭和五十五年十月には、このような活動が認められて厚生大臣表彰を受賞した。

会長は熊本市内の保育園々長村本さん。村本さんは言う、会にも悩みがあると。会員の仕事の都合によっておこるろうあ者の要望を満たされないためのトラブル、後継者問題等。

また、本当にろうあ者が必要としているのは我々ボランティアでなくて、ろうあ者の家庭に急病人がでた場合の医者とのコミュニケーション等も考えた二十四時間体制の手話通訳派遣制度であるともいう。

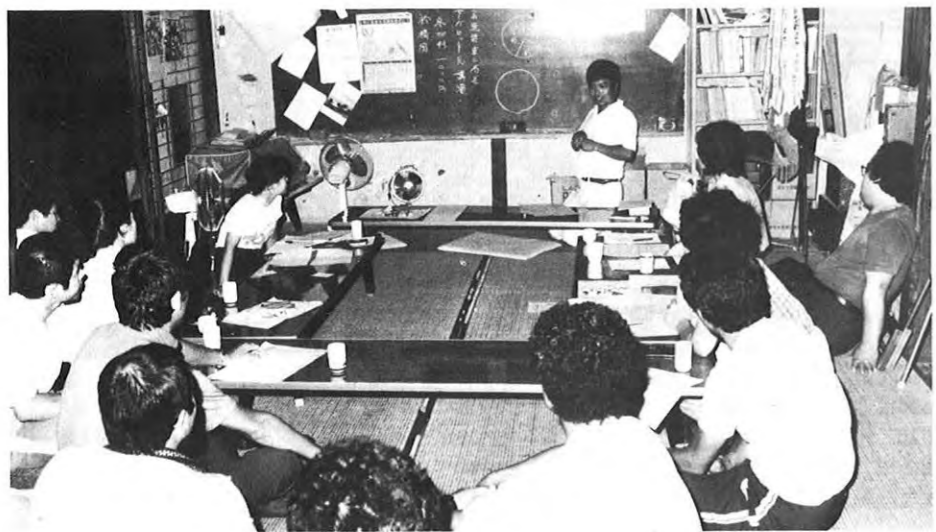
今年は国際障害者年。これを契機として一般健常者が障害者に対し理解と協力を一層深めてもらいたいものです。

国際障害者年記念 熊本県心身障害者雇用促進大会

熊本県・社団法人熊本県心身障害者雇用促進協会



▲「典子は、今」の松山善三さんと辻典子さんの手話通訳するわかぎ会員



◀毎週水曜日に集まり活動報告を行っている



◀県ろう協体育大会でフォークダンスを楽しむ会員たち